

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-029)

提出日	年	月	日
-----	---	---	---

(1) イベント名

日米高速回線を用いた異文化交流に関する遠隔授業実証実験

(2) イベント概要

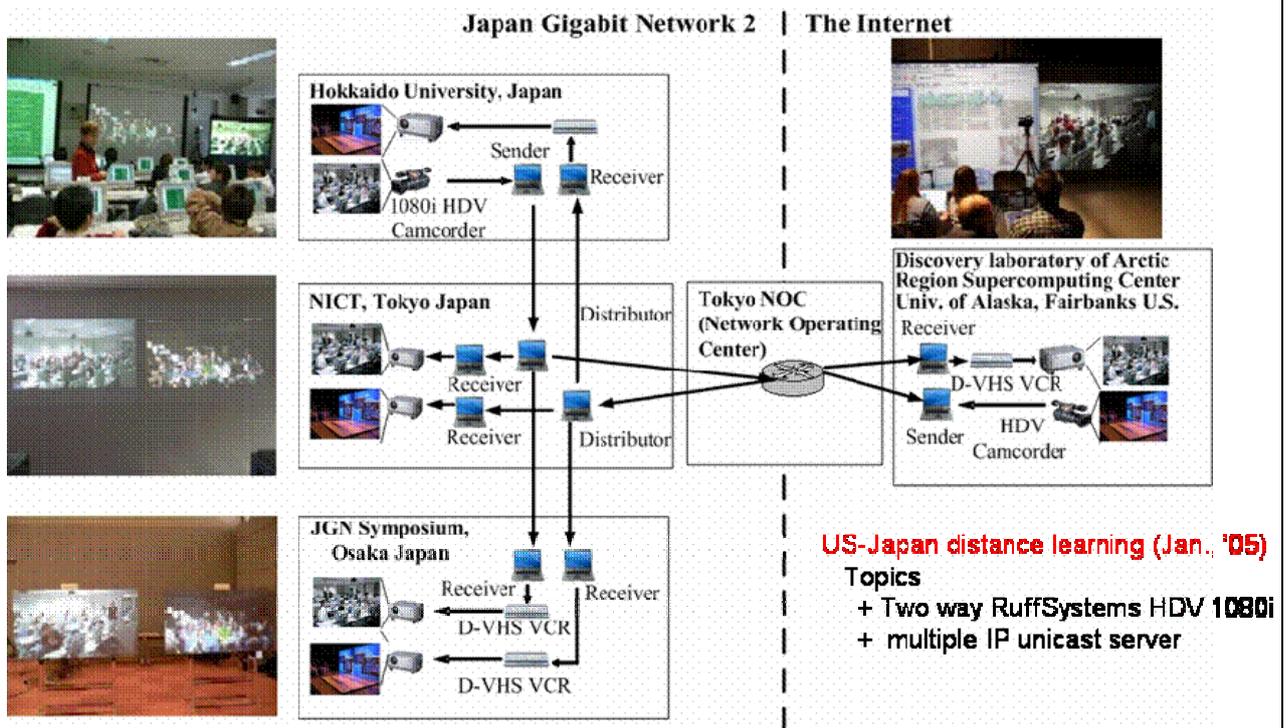
北海道大学とアラスカ大学フェアバンクス校間で異文化交流をテーマとした遠隔授業の実証実験の様子を両地点から NICT 小金井に伝送する。そこで、多地点配信サーバーにて、多チャンネル再配信を行い、NICT 小金井での視聴のほか、大阪で開催された JGN2 シンポジウムのデモ会場を受信した。

同様にこの様子を同時期に開催される国際会議 PTC'05(ハワイ)にも送出を試みた。ところが、ハワイ側会場内のネットワークの問題のため、正常な受信に至らなかった。

なお、HDV 品質の映像を IP 伝送するアプリケーションとして、RuffSystems HDV を用いた。

(3) JGN2 利用の概要

ネットワークの概要と各所の状況を以下の図に示します。



(4) イベントの参加人数

北海道大学：約 30 名

アラスカ大学：約 15 名

JGN2 シンポ会場：シンポ来場者が随時ご見学されたため、詳細不明

NICT 小金井：若干名

(5) 実施の評価等

これまで数年にわたり、DV品質やHDV品質の映像を双方向にIP伝送するアプリケーション（RuffSystems）を用いて、北大とスタンフォード大学との間での遠隔授業を実施して、学生や指導した教官からの主観評価などを得てきた。今回は、HDV品質の映像を双方向でIP伝送し、北海道大学とアラスカ大フェアバンクス校との間で遠隔授業を実施、評価実験を実施する機会とした。同時に、JGN2シンポジウム開催時期と重なっていることもあり、2つの大学でやり取りしている映像と音声をNICT小金井でいったん受信した後、小金井及び大阪（シンポ会場）でライブ視聴できる環境を構築し、シンポ来場者の方々にもまさに進行中授業の模様を臨場感持って視聴いただくことができた。

残念ながら、もう1つの受信拠点と考えていたハワイ会場については、空間光伝送区間の雷雨による影響やハワイ会場内での他のデモとのネットワークリソースの割り振りなどの問題により、正常に受信することができなかったことは、今後の反省事項としたい。